

基本政策 9の施策体系

(基本目標 4) 自然と共生し、安全・安心な社会を支える強靱なまちを目指します

基本政策9 環境負荷の低減と自然との共生の確保

【目標像】

- 環境に対する市民の意識が高まり、人と自然が共生できる社会が形成されています。
- 環境に配慮したライフスタイルが定着し、循環型社会が形成されています。
- 省エネ対策や再生可能エネルギーの導入などにより、低炭素社会が形成されています。

【成果指標】

指 標	基準値	目標値(H31)	目標値(H35)	目標値(H39)
ごみ総排出量	118,548t (H26)	112,800t	—	100,000t
温室効果ガス排出量	2,695 千t-CO2 (H23)	2,525 千t-CO2	—	2,193 千t-CO2
緑などの自然環境が良いと感じている市民の割合	59.0% (H27)	62%	—	69%

施策1 自然共生社会の形成

展開施策1 生物多様性の保全

(評価指標)

- ・ 自然環境保全活動等団体数
- ・ 緑地の面積
- ・ 環境アドバイザー登録数
- ・ みどりにかかわる協働団体数

施策2 循環型社会の形成

展開施策1 ごみ減量・資源化の推進

(評価指標)

- ・ 1人1日当たりのごみ排出量
- ・ 焼却処理量
- ・ リサイクル率
- ・ 埋立処分量

展開施策2 衛生的な生活環境の保全

(評価指標)

- ・ 生活排水処理率
- ・ 下水道管路の長寿命化計画に基づく更新割合

施策3 低炭素社会の形成

展開施策1 多面的なエネルギー対策の推進

(評価指標)

- ・ 環境に配慮した行動に取り組む市民の割合
- ・ 省エネに努めている市民の割合
- ・ 固定価格買取制度による再生可能エネルギー発電設備導入容量
(新規認定分)
- ・ 市内のエネルギー消費量